

第4章 ビジョンの内容

ステージ1 はじめる

(1) 起業・創業支援プロジェクト

市内外の起業・創業を検討している人が、「富士市で起業・創業する」ことを積極的に選択する環境を整備するため、起業・創業のための支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

・ 開業パワーアップ支援資金利子補給事業【継続】

市内における起業家・創業者を支援するために、創業及び創業により行う事業に必要な資金を貸し付けた金融機関に対し、利子補給金を交付します。

・ 産業支援センター事業（f-Biz egg）【拡充】

“創業のワンストップセンター”として、業種の垣根を超えた産業全般を対象に、起業・創業を目指す個人や団体等を支援し、本市の産業活力の担い手の育成を図ります。

現在、起業相談、先輩起業家によるアドバイス、起業セミナーの開催、各種支援機関へのコーディネート等を行っていますが、若者・女性起業家向けのセミナー、経営ノウハウの向上に寄与するようなセミナー、相談会等を充実させていきます。

・ 専門家派遣事業【継続】

※国内販路開拓支援プロジェクト（p.26）で詳述

・ 企業等OB人材マッチング事業（富土地域OB人材活用事業）【継続】

※ものづくり人材育成支援プロジェクト（p.28）で詳述

(2) 企業誘致・留置プロジェクト

市内外の事業拡大等を検討している企業が「富士市で事業を営む（又は継続する）」ことを積極的に選択する環境を整備するため、企業の誘致・留置に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

・ 企業立地促進事業【拡充】

市内の中小企業者等がより利用しやすい制度となるよう、企業立地促進奨励金の指定要件の見直し等を行います。

また、富士市企業立地促進条例等に定める環境エネルギー機器などの新産業及びファルマバレープロジェクト¹⁴関連企業を中心に市内への立地を推進します。併せて、企業支援・誘致推進員を中心とする市内外の企業訪問により、企業のニーズを把握し、企業誘致・留置施策への反映に努めます。

・ 新工業団地整備事業【新規】

富士山フロント工業団地、新東名新富士 I C 周辺流通業務専用地が完売し、一団の工業用地の提供が困難になっている中で、新たな企業立地の受け皿を確保し、さらなる企業誘致・留置を推進するため、新たな工業団地の整備に取り組みます。

ステージ 2 つくる

(1) 製品開発・研究支援プロジェクト

市内企業がより高付加価値な製品や生産技術の開発・研究に活発に取り組むことのできる環境を整備するため、セルロースナノファイバー（CNF）をはじめとする新素材・新製品の開発や研究の支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

・ 産学連携研究等推進事業【拡充】

産学連携による新たな製品や生産技術の開発を促進するため、産学連携ものづくりチャレンジ補助金を継続するとともに、高等教育機関の産学連携コーディネータ等との連携を図ります。

セルロースナノファイバー（CNF）の実用化に向けては、産学連携による研究会を設置し、用途開発に取り組む企業を積極的に支援していきます。

¹⁴ ファルマバレープロジェクト:静岡県が平成 12 年度に策定した「富士山麓先端医療産業集積構想(富士山麓ファルマバレー構想)」、 「第1次戦略計画(平成 14 年度~18 年度)」及び「第2次戦略計画(平成 19 年度~22 年度)」、「第3次戦略計画(平成 23~32 年度)」に基づき事業を推進し、世界トップクラスのがん診療拠点である静岡がんセンターを中心に、先端医療の実践と高度な研究開発を展開するとともに、(公財)静岡県産業振興財団ファルマバレーセンターを中核支援機関に、我が国でも稀な、医療機関を中心とした産業クラスターの形成を進めている。

- ・ **富士山麓医療関連機器製造業者等交流会（富士医交会）【継続】**

※異業種連携支援プロジェクト（p.30）で詳述

- ・ **専門家派遣事業【継続】**

※国内販路開拓支援プロジェクト（p.26）で詳述

- ・ **企業等OB人材マッチング事業（富土地域OB人材活用事業）【継続】**

※ものづくり人材育成支援プロジェクト（p.28）で詳述

(2) 知的財産支援プロジェクト

市内企業が、高度な知的財産戦略の下に、製品や生産技術の高付加価値化に取り組むことのできる環境を整備するため、知的財産の取得や知的財産を有効活用した事業展開の支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

- ・ **産業財産権取得事業補助事業【拡充】**

産業財産権取得事業補助金を継続するとともに、国外における産業財産権の取得に対する支援制度（補助制度等）を創設します。

- ・ **開放特許活用支援事業【新規】**

公益財団法人静岡県産業振興財団等との連携により、開放特許¹⁵の活用に関する説明会、相談会の開催その他市内企業による開放特許の有効活用に向けた支援を行います。

- ・ **専門家派遣事業【継続】**

※国内販路開拓支援プロジェクト（p.26）で詳述

- ・ **企業等OB人材マッチング事業（富土地域OB人材活用事業）【継続】**

※ものづくり人材育成支援プロジェクト（p.28）で詳述

¹⁵ 開放特許：特許権者、または出願人が第三者に対し、開放（ライセンス契約、譲渡等）する意思のある特許のこと。権利を放棄している訳ではなく、開放特許を利用したい場合は特許権者との契約等が必要となる。

(1) 国内販路開拓支援プロジェクト

市内企業が自らの製品や技術力を市内外に向けて積極的に発信し、強固な販路を確保できる環境を整備するため、国内における販路の開拓・拡大の支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

・ 産業支援センター事業（f-Biz）【継続】

農林水産業、製造業、サービス業など、業種の垣根を超えて、製品開発や販路開拓、経営戦略、マーケティング等の課題に対する相談のほか、各種セミナーの開催など総合的なサポートを行います。

・ はばたき支援事業【継続】

自らの製品を国内における展示会、見本市等に出展し販路の拡大を図る中小企業者等を対象に、出展経費の一部を補助します。

・ ものづくりデータベース活用事業【継続】

市内製造業等の企業情報を公開し、受発注、販路開拓、研究開発等の企業間取引による産業の活性化と振興に役立てることを目的に、ものづくり企業データベースを運用します。

・ 紙のまち振興事業【拡充】

富士山紙フェア等のPRイベントによる紙産業の振興、再生家庭紙の利用促進等に継続して取り組むとともに、展示会への共同出展（富士市ブースとしての出展）等を実施します。

・ 地元製品PR事業【継続】

各種イベント等やふるさと納税の特典制度において、富士ブランド認定品をはじめとする地元産品のPRに積極的に取り組みます。

・ 専門家派遣事業【継続】

創業に関する課題や経営体質の改善、マーケティング戦略・営業戦略、ICT¹⁶の有効活用など、中小企業者等の抱える課題の解決を支援するため、地域内産業支援機関と連携し、専門家を派遣します。

¹⁶ ICT（Information and Communication Technology）：情報通信技術の略。日本では、情報処理や通信に関する技術を総合的に指す用語としてIT（Information Technology：情報技術）が普及したが、国際的にはICTが広く使われる。

- ・ **企業等OB人材マッチング事業（富土地域OB人材活用事業）【継続】**

※ものづくり人材育成支援プロジェクト（p.28）で詳述

(2) 海外販路開拓支援プロジェクト

市内企業が自らの製品や技術力を海外に向けて積極的に発信し、強固な販路を確保できる環境を整備するため、国外における販路の開拓・拡大の支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

- ・ **海外販路開拓支援事業【継続】**

自らの製品を国外における展示会、見本市等に出展し販路の拡大を図る中小企業者等を対象に、出展経費の一部を補助します。

- ・ **海外情報発信支援事業【新規】**

外国語版ウェブサイト等の海外向け広報媒体の作成に対する支援を行います（補助制度等）。

- ・ **海外販路創出事業【新規】**

比較的低廉な価格での市内企業の海外販路開拓の機会を創出するため、海外における展示会等への共同出展（市がブースを借り上げ）、海外における展示会、商談会等を実施します。

- ・ **外国語版・ものづくり企業データベース作成事業【新規】**

海外企業が自国語で直接市内企業の情報を入手できる環境を整備するため、「外国語版・ものづくり企業データベース」を作成します。

ステージ4 つよめる

(1) 経営革新支援プロジェクト

市内企業が新分野への進出、新商品開発等に活発に取り組むことのできる環境を整備するため、経営革新の支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

- ・ **新産業セミナー【継続】**

新規事業へ取り組むきっかけや、アイデアを生み出すノウハウを提供し、今後の企業経営の発展に寄与することを目的として、セミナーを開催します。

- ・ **新事業展開支援資金（経営革新等貸付）事業【新規】**

県の中小企業向け制度融資（新事業展開支援資金（経営革新等貸付））利用者への追加支援（上乗せ融資、利子補給等）を行います。

- ・ **生産現場改善リーダー養成セミナー【継続】**

※ものづくり人材育成支援プロジェクト（p.28）で詳述

- ・ **産業支援センター事業（f-Biz）【継続】**

※国内販路開拓支援プロジェクト（p.26）で詳述

(2) ものづくり人材育成支援プロジェクト

市内企業が、必要とする人材を安定的に確保して事業を営むことのできる環境を整備するため、ものづくり人材の育成支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

- ・ **発明くふう展事業【継続】**

創意工夫することで発明・工夫に対する関心を高め、創造や科学する心を広く培うため、発明くふう展を開催します。

- ・ **生産現場改善リーダー養成セミナー【継続】**

中小企業の生産性の向上と中核人材の育成を目的として、市内企業の社員、OB人材活用協議会登録者等を対象に生産現場改善リーダー養成セミナーを開催します。

- ・ **企業等OB人材マッチング事業（富土地域OB人材活用事業）【継続】**

企業等のOBが、長年にわたって培ってきた経営ノウハウや技術スキルを基に、企業が日常の事業展開のなかで抱えている経営改善や新製品開発等の課題について、指導・アドバイスを行います。

- ・ **産学連携型人材育成事業【新規】**

市内企業と高等教育機関、高校等の連携による人材育成事業を創設します。

- ・ **ものづくり企業交流事業【新規】**

※異業種連携支援プロジェクト（p.31）で詳述

ステージ5 つづける

(1) 事業継続・承継支援プロジェクト

市内企業が、災害発生時等の事業継続や後継者問題、資金問題に悩むことなく事業を営むことのできる環境を整備するため、事業の継続や承継の支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

・事業継続計画（BCP）策定支援事業【継続】

大規模災害に伴う生産停止、雇用調整などの影響の軽減を図るため、事業継続計画（BCP）の概要と策定の必要性の理解についてのセミナーを開催します。

・立地工場等事業継続強化事業費補助金【継続】

事業継続計画（BCP）等に基づき、市内において工場等の移転又は分散を行う企業等に補助金を交付します。

・事業承継支援事業【新規】

静岡県事業引継ぎ支援センター¹⁷との協働による事業承継に関する相談会等を実施します。

・専門家派遣事業【継続】

※国内販路開拓支援プロジェクト（p.26）で詳述

・企業等OB人材マッチング事業（富土地域OB人材活用事業）【継続】

※ものづくり人材育成支援プロジェクト（p.28）で詳述

(2) 金融支援プロジェクト

市内企業が、多様な資金調達手段から必要とする制度を選択して新事業への進出等に挑戦できる環境を整備するため、金融支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

・中小企業経営活性化資金融資事業【継続】

中小企業の経営の合理化及び安定化に寄与するため、近代化資金及び経営改善資金を融資します。

¹⁷ 事業引継ぎ支援センター：産業競争力強化法（平成25年法律第98号）に基づき、認定を受けた産業支援機関（認定支援機関）が次世代への事業引継ぎに関する様々な解決を支援する公的相談窓口。静岡県においては、静岡商工会議所が経済産業省関東経済産業局から委託を受けて事業を実施している。

・小口資金利子補給事業【継続】

小規模事業者の経営の安定化及び合理化のために必要な設備・運転資金を貸し付けた金融機関に対し、利子補給金を交付します。

・短期経営改善資金利子補給事業【継続】

中小企業者の経営の安定化及び合理化のために一時的に必要な運転資金を貸し付けた金融機関に対し、利子補給金を交付します。

・経済変動対策貸付資金利子補給事業【継続】

売上の減少や原材料等の高騰に直面している中小企業者等の経営安定化のために必要な設備・運転資金を貸し付けた金融機関に対し、利子補給金を交付します。

・小規模企業者貸付資金利子補給事業【継続】

小規模事業者の経営の安定化及び合理化のために必要な設備・運転資金を貸し付けた金融機関に対し、利子補給金を交付します。

・小規模事業者経営改善資金利子補給事業（マル経融資）【継続】

日本政策金融公庫による「小規模事業者経営改善資金」の融資を受けた小規模事業者に対して、富士商工会議所・富士市商工会を通じて利子補給金を交付します。

・開業パワーアップ支援資金利子補給事業【継続】

※起業・創業支援プロジェクト（p.23）で詳述

・新事業展開支援資金（経営革新等貸付）事業【新規】

※経営革新支援プロジェクト（p.28）で詳述

ステージ∞ つながる

(1) 異業種連携支援プロジェクト

市内企業が多様な業種との連携により新製品・新技術の開発に活発に取り組むことのできる環境を整備するため、異業種連携の支援に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

・富士山麓医療関連機器製造業者等交流会（富士医交会）【継続】

医療関連機器や福祉・介護機器の製造を行っている事業者や、自社の保有する技術を活かして新たにこれらの分野への参入を目指す事業者等が一堂に会し、医療関連機器、福祉・介護機器

等に関する開発ニーズや技術情報等の把握、新製品の開発等を行うための産学官連携を基本とした交流会を開催します。

・ものづくり企業交流事業【新規】

本市のものづくり産業を支える、確かな技術力を有する企業や、革新的な取組に挑戦している企業の製品、技術等を市内外に発信するとともに、企業間の連携を促進するための「(仮称)『ものづくり力』フェア」を開催します。

・産学連携研究等推進事業【拡充】

※製品開発・研究支援プロジェクト (p.24) で詳述

(2) 支援機関連携プロジェクト

各支援機関が的確な連携の下で効果的に市内企業を支援できる環境を整備するため、支援機関の連携に積極的に取り組みます。

■ 取り組む事業

・産業支援機関連携促進事業【拡充】

各種産業支援機関が効率的、効果的な支援を実施するためには、支援機関同士が互いに有機的に連携し、相互補完的に活動することが肝要であることから、各種の負担金・補助金等により、産業支援機関の運営や実施事業について支援を行います。

また、支援機関等との間で、職員の派遣、受入れ等の人事交流を検討します。

・企業支援情報一元化推進事業【新規】

市内で起業・創業しようとする人や現在市内で事業を営んでいる企業が、国・県等の制度をはじめとする必要な情報を、可能な限り漏れなく、効率的に入手できるよう、企業支援情報の一元化を図ります。